

「ブラック企業特区」 つくるって！



橋下さんって
安倍さん以上やん!!

人間らしく働けるように!
非正規から正規にして!

これに応える 大阪市政に

毎日、仕事が終わるのは10時、11時、残業代はなし! 何とかして!——人間らしく働けるルールづくりを求める声は切実です。

ところが、安倍政権は、「残業代ゼロ」「生涯派遣社会=正社員ゼロ社会」へと暴走しています。

また、「都構想」で経済成長をさせるという橋下市長は、これまで「最低賃金制の廃止」を叫び、労働時間の上限や解雇の規制を取り払う「チャレンジ特区」を提案。「ブラック企業特区」と批判されました。とんでもない姿勢です。

他都市では、「非正規から正規を希望した人を正社員にした場合の助成金制度づくり」などが進められています。

大阪市の大きな権限・財源を雇用の安定に使い、ブラック企業規制条例の制定などで安心して働ける大阪づくりをすすめましょう。

「都構想」ストップ!



大阪の歴史・文化を世界に発信する国立文楽劇場

“自然を再生し、研究・教育機関を市内に戻すなど発想を転換すべき。大阪の再生のためには都市格を高めることが大事”と宮本憲一大阪市立大学名誉教授が提唱されました。共鳴された大西正文大商会頭は、1995年に「住みたい都市」「豊かな市民をはぐむ都市」「中小企業が輝く都市」「歴史や文化が息づく都市」などを提起されました。具体化できませんでしたが、立場の違いを超え、よりよくするための努力がされました。そんな大阪が私たちは好きです。



— 週刊 —
**I LOVE
OSAKA**

よみがえれ
大阪

「大阪市をよくする会」機関紙
2015年3月10日 第374号

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6357-6139 FAX (06) 6357-5303

HP: <http://www.yokusurukai.com>
Mail: yokusurukai@nifty.com

大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、障連協、大生連、大信連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。 大阪市をよくする会の見解をお知らせします。



大阪市には
公立幼稚園、
公立保育所はいらん！
浮いたお金で
カジノだ！ 鉄道だ！

「都構想」
ストップ

ムダな大型開発やめ、大阪市の大きな財源を使えば

子どもたちの笑顔がはじけ、
子育てしやすい大阪にできます

力をあわせて実現しましょう

- 認可保育所の増設で、希望者がみんな入れるように、兄弟・姉妹が別々でなく同じ保育所に入れるように。
- 保育料の保護者負担の引き下げを。
- 途中入所でも認可保育所に入れるように。
- ビルの一室の“園庭ゼロ”、狭い保育室でなく、広い園庭で遊べる保育所に。
- 保育士が働き続けられるよう労働条件の改善を。

子育てバツサリ切り捨ての
「都構想」はゴメンです



「都構想」では、市政改革プランの「全公立幼稚園と保育所の民営化」「保育料の値上げ」「狭い保育室」「保育士配置基準の切り下げ」「保育所など福祉施設への水道料金減免の廃止」などが継続実施されます。

その上、特別区の税収は4分の1に激減し、住民サービスが低下します。こんな「都構想」はゴメンです。